

実 習	教 科	工 業	単 位 数	6 単 位
	学科、学年、組	情報デザイン科 第2学年 6組		
使用教科書	自作プリント			
副 教 材 等	新「情報」活用テキスト(パソコン検定協会)、30時間でマスターExcel2019			

1 科目のねらい(目標)

学習の到達目標	<p>工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 工業の各分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 工業の各分野の技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。</p> <p>(3) 工業の各分野に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
---------	---

2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点についてそれぞれABCで評価し、各観点の割合を基に評定(5段階)で総括します。
 評価の規準 A:十分満足できる、B:おおむね満足できる、C:努力を要する

評価の観点及び内容		観点の割合	評 価 方 法
知識・技術	各実習テーマの目的、内容を実習結果を踏まえ理解し、その原理、基礎、基本、ポイントを身に付けている。	40%	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業への取り組み状況 レポートの内容
思考・判断・表現	実習目的、工程を理解し、問題解決のための行動や工夫をし、実習結果を検討し、合理的に整理、検討する力を身に付けている。	30%	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業への取り組み状況 授業中の発言 レポートの内容
主体的に学習に取り組む態度	各実習テーマに対する目標を理解し、各実習活動に積極適に参加し、技術習得に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	30%	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み状況 レポートの内容

3 学習計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1	以下の各テーマをローテーションにより実施 【Windows】 Word 1～6 Excel 1～6 【画像編集】 画像編集 1～6	<ul style="list-style-type: none"> Wordについて、基礎的な知識と操作を習得する。 Excelについて、基礎的な知識と操作を習得する。 WordとExcelを利用した演習が解ける。 Excelについて、応用的な知識を習得する。
2	【ソフトウェア】 C言語 1～6 【画像デザイン】	<ul style="list-style-type: none"> ・定数の種類、変数の型と記憶領域の関係、取り得る値の範囲および変数名の付け方、型宣言について理解する。 ・標準入出力関数の使い方、書き方を理解する。 ・算術演算子、条件分岐と繰り返しの制御文の使い方を理解する。 ・配列を用いる利点、配列の宣言、サイズと要素の添字の関係を理解する。 ・色の特性を理解し色についての知識を身に付けている。 ・アプリケーションソフトの特徴や種類を検証し、画像の加工や編集について検討し改善している。 ・世界で使われている色や模様をインターネットの利用やメディア媒体にダウンロードなどを自ら学び主体的に取り組もうとしている。 ・Tシャツの構造を理解し、デザイン画に主体的に取り組もうとしている。
3	【電子工作】 メロディ時計の製作 1～6 【制御】 リレーシーケンス 1～3 無接点シーケンス 1～3	<ul style="list-style-type: none"> ・使用部品、部材について理解する。 ・プリント基板のパターン設計方法を理解する。 ・プリント基板の製作方法を理解する。 ・半田付け方法と注意事項を理解する。 ・各種工具の正しい安全な使用法を理解する。 ・メロディの原理を理解し、メロディを制作できる。 ・リレーシーケンス制御について理解する。 ・配線作業中の留意点を理解する。 ・プログラマブルコントローラのプログラミング技法を理解する。 ・プログラマブルコントローラ用プログラミングソフトを理解する。 ・付加装置を円滑に動かすプログラムが作成できる。